

# **CEO** メッセージ集

第1号 ～ 第179号

平成15年5月12日

## チャレンジ2003

社長 細田安治

最初のホームページを立ち上げたのは、平成8年のこと早いもので7年経過した。手造りの手法で、のカタログを、パソコン上で見ることができること、しかも外部の不特定多数のかたがたに見ていただくことができるなどから、出来上がった時点で、時間もかかり、骨が折れたことから、自分自身にご苦労さんと、自己満足におちいり、これで一安心してしまった。当時はまだまだホームページの奔りの時期で、木材業界では私の知っている限りでは、大阪中川木材産業さん以外には立ち上げているところはなかった。新木場ではもちろん一番早かった。当時は電子メールも同じく始まったばかり、そのたIT情報の洪水に押し流され、ホームページについては、兎に角完成したからこれでよいのでは、人に先んじたことは確かなので、しばらくはこれでよしとした。放おって置いたわけではなく、途中更新を細々ながら、施工現場の写真と、説明を加える程度の作業は継続していたが、私の怠慢のため、根本的な更新には手をつけなかった。忘れもしない平成11年の異業種交流会で私がホームページの発表を行った。当時はやっと会員の皆さんがホームページに手をつけたころこちらは3年先んじていたので自信满满発表に臨んだ。ところがところが、このとき会員から手厳しい批判の洗礼を受けた。今では、大変ありがたい指導をいただいたと感謝している。細田木材工業のホームページは目的がはっきりしていない、いったい何を訴えたいのか、「会社の紹介か」会社案内のようなものなら、なにもこんな大げさに作る必要があるのか、コンセプトがはっきりしない、商売にこれが使えるのか？注文したくても注文できないのでは、注文以前の見積もり依頼もできないのではないかと、などなどである。そう言われてみれば、就職希望の学生から面接中、細田木材工業のホームページは「いつ見ても同じだ、更新しないのか」との質問されたこともあった。当時はB to B取引、B to C取引などの言葉がやっと認知された時代で中小企業者がやっと電子取引の要であるホームページに取り組み始め、第一次ブームが始まったばかりであった。こちらは3年の前に立ち上げていたが、一安心と油断したために大きく遅れをとってしまった。ここでホームページ再出発せねばと気がつき、二度目の作業にかかった。ここで以前から自分ひとりではできぬこと、社内に組織を作らねばとここで踏ん切りをつけ委員会を立ち上げた。夏の賞与支給日を完成発表の日とし、ゴールを決めてスタートした。これが大成功、委員長のリーダーシップも素晴らしいが、委員長を盛り上げた若い人の力が結集し、細田木材工業の売りである技術を中心として、生産から設計、施工までの一貫した特長が前面にでた素晴らしいものであった。ここで東京ツキ板商工業会ホームページを持とうと取り組んだが、約二年間迷走、細田木材工業としての作業時間もこちらにとられており、結果的にホームページ更新が遅れた。このたびCNV社の協力を得てチャレンジ2003を立ち上げた次第、ご期待に応えることができると確信しております。

平成15年5月12日

ホームページ委員会の皆様へ

三度目のホームページ構築に期待する

社長 細田安治

早いものでホームページを立ち上げてから7年経過した。平成8年のことである。最初は先生に付いて手造りの手法でとにかく会社のカタログを、画面に表示しこれがパソコン上で見ることができること、しかも外部の不特定多数のかたがたに見ていただくことなどから、とにかく出来上がった時点で、自己満足におちいり、これで一安心してしまった。当時はまだまだホームページの奔りの時期で、木材業界では私の知っている限りでは、大阪中川木材産業さん以外には立ち上げているところはなかった。新木場ではもちろん一番早かった。当時は電子メールも同じく始まったばかり、そのたIT情報の洪水に押し流され、ホームページは、兎に角完成したからこれでしばらくはよいのでは、人に先んじたことは確かなのでしばらくはこれでよいとした。しかしほおって置いたわけではなく、途中更新もそこしづつで施工現場の写真と説明を加える程度の作業は継続していたが、根本的な更新には手をつけず、細々とした作業しかなかった。

忘れもしない平成11年の異業種交流会で私がホームページの発表を行った。このとき会員から大変ありがたい指導をいただいたことである。細田木材工業のホームページは目的がはっきりしていない、いったい何を訴えたいのか、「会社のしょうかいか」会社案内のようなものなら、なにもこんな大げさに作る必要があるのか、目的がコンセプトがはっきりしない、ビジネス、商売にこれが使えるのか？注文したくても注文できないのでは、注文以前の見積もり依頼もできないのではないか、などなどである。

当時はB to B取引、B to C取引などの言葉がやっと認知された時代で中小企業者がやっと電子取引の要であるホームページに取り組み始め、第一次ブームが始まったばかりであった。こちらは3年の前に立ち上げていたが、一安心と油断したために大きく遅れをとってしまった。ここでホームページ再出発せねばと気がつき、二度目の作業にかかった。ここで以前から自分ひとりではできぬと気づいており社内に組織を作らねばと気づいていたがここで踏ん切りがつき委員会を立ち上げた。完成発表の日は夏の賞与支給日に最終ゴールを決めスタートした。これが大成功、委員長のリダーシップも素晴らしいが、委員長を盛り上げた若い人の力が結集し、細田木材工業の売りである技術を中心として、生産から設計、施工までの一貫した特長が前面にでた素晴らしいものであった。ここで東京ツキ板商工業会がホームページを持とう、ということになりこれに取り組んだが、約二年か迷走を重ね未完となった、この間自社の細田木材工業としての作業時間もこちらにとられており、結果的に細田木材工業のホームページ更新が遅れたことになってしまった。

そんなこんなで、作業が遅れていたが、このたびCNV社の協力を得て三度めの構築にとりかかった次第です。完成発表は6月28日と自分では腹つもりしている。委員長を中心に素晴らしいホームページが立ち上がることを期待する。

ホームページNO2 2003年7月29日 原稿

横浜大栈橋

木の復権

埼玉アリーナ、大阪ドーム

リホーム展示会3年7月12日

横浜港大栈橋国際客船ターミナル 視察

かねてより、社員とともに視察し、木のよさ木の復権木の力強さを目の当たりにして、ともすれば旗色の悪い木材業界、下を向いたままいつもうつむき加減の業界に活を入れる一助になるようにするためには、少なくとも細田の社員から、木材復権の、ノロシをあげて、事あるごとに同業者は勿論のこと、周りに人たちに木のよさを訴えるためには、まず見なければ、見るにも何を見るのだ社内でこんな議論を重ねた後、近いところ、名物になっているところ、木を沢山使っているところはどこか、ここまできれば、横浜の大栈橋が一番候補に浮上した次第である。

7月12日土曜日にいよいよ実行の日がきた。この日の設定には心を配り、昼間目いっぱい仕事をして夕方出発、明るいうちに大栈橋につき、横浜港の雄大な夕暮れが訪れる前に、視察を済ませ夕食は中華街で、と言うスケジュールになっていた。当日は朝から雨であり困ったことだと心配していたが、お天気男揃い、普段の心がけの良さもあって、午後には雨もやみ暑くもなしの日和となった。

小一時間で大栈橋に到着した。驚くなかれ、外観はうねりのある木の山、圧倒的なボリュームで迫ってくる、迫力で迫ってくる壮観 極わまる木の城といった第一印象だこれだけの迫力は、木でなくては出せないものだ、もっと世の中に宣伝し木のよさを訴えるべきだ。

外部は風雨に曝されており、イペ材特有の重厚なブラウン色は跡形もない、サラシ粉が噴出したように、板は真っ白に変化している。紫外線による白化現象である。内部と比較すればよく判るが、建物内部の板は紫外線に 直接曝されないために、イペ材特有の重厚な赤みを帯びたブラウン色が艶を出しており素晴らしい限りだ。この白化現象を何とか食い止めることが出来ればと常々考えている。たとえば 塗装することにより、紫外線 B をカットできればなどと考えている。考えているだけではと、塗料メーカーと共同開発中である。

製材業は歩留まりの勝負だ。歩留まりとはいわずと知れたこと 如何に一本の丸太から製材品を挽きだすかである。そこで柾目木取りが標準だが、割れを逃げたり、板幅を決めたりするときには、柾目、板目かまわず、製材し歩留まりを向上させる。製材業者としては当然のことだ。しかしこれは供給者の論理であり、使う人すなわち需要者ユーザーの論理から言えば明らかに反している。柾目板は割れず曲がらず狂わずである。板目板は、残念ながら、割れ、曲がり、狂いが発生している残念極まりないことだ。矢張り板目板は、仕

方がないか、含水率も、木目の構成も違う、収縮の度合いも違うためどうしても割れてくる、これはやむをえないことだ、生材を使えば当然こうなることは専門家の間ではわかっている。この大栈橋に限らず、どこでも起こる現象だ。ここで木材が世間から誤解され、冷遇されているポイントが隠されている。このままでは目、割れるから、狂うから、木は色が変わるから駄だめの一言で片づけられてしまう。残念至極だ。木は使い方である。まず生で使わずに、必ず乾燥することそれも人工乾燥が適切と考える。次に使い方であるが、板目

板は仕分けして直接太陽光線に曝されると所には使わない。室内へ使うことを条件とする。外部の直射日光に曝されるところには、柾目 板を使用する使い分けがポイントだ。木は天然自然が 恵むでくれたこの上もない素晴らしい素材だ。循環型資源、健康に、安全に、安心につながる資源だ。

せっかく横浜大栈橋にこのように大量に使われ、大変 有り難いことだが、もう一工夫すること、問題は運用だ、どうしたらこの素晴らしい素材を活かし、人の世の役に立ち、長持ちさせるかを我々木材業者が中心となって、世のなかに訴えるべきではないか、ここ横浜大栈橋の木のお城で痛感した次第だ。

使用量 参考

デッキ イペ材 2200m<sup>3</sup>使用

20ミリ換算 110,000m<sup>2</sup> / 3.3 = 33,000坪

コンテナ数

20フィートコンテナ一台 20m<sup>3</sup> 2200 / 20 = 110コンテナ

トラック台数 10トン車 5m<sup>3</sup> 110 / 5m<sup>3</sup> = トラック220台

板目は割れ、すきま 10ミリ

柱目はOK

上り坂 ラフ滑らぬ工夫

室内上り坂 じゅうたんしきは頂けない

カーブ 座り心地満点 木はやはり良い 子供たちが遊んでいた

取り合いは 根太が下がない場合横でとめる

鋭い切っ先であわせている

坂道は金具で止めている

内部

イペの色が日焼けせずに良い色だ、白かしないような塗料が欲しい

内部の板は20ミリ根太間900ミリ、人が乗るとたわむ、

心配だがたわむことによる歩行間のよさを追及したのか意見が分かれる

ところだ

この辺が不明だ

点検穴 工夫してある ここで係員にとがめられた 点検穴をあけて覗

き込んだり寸法を測っていたのでとがめられた

ここで鶴田先生

この工事をやりましたどうなっているか 見にきたといった

ここで謝ってはいけない 誤ることは悪いことをしたことを認めたこと

になる。

■ 資料を渡ただけでなく説明したのが良かった、渡ただけでは読まないし読んでも頭へ入らない、読ませることが大事だ、事前の写真があればもっと良かった

■ 藤沢

社長、デッキのコバ小口が一定方向に斜めに切っているのは、なぜか判るか、と言われよくよく見ると成る程斜めに加工されている。その上に立つと下から風が吹き上げ、女の方はスカートを押さえているよく見る風景だ。なるほどしたからの循環空気の流通を良くするために、風の抵抗を少なくするために、斜め加工を施したものだ。なるほどよく考えたものだ。

平成 15 年 8 月 25 日

細田安治

## 需要の創造 1

森林と木のフェア・木材フェアが6月14日、15日の2日間大阪ドーム近鉄球場で実施された。

全国森林組合と全国木材協同組合連合会の共同開催によるもので、西日本を中心とする全国各地より協同組合、ならびに協同組合傘下の木材業者、工務店、大学の研究室、そして森林総研、住木センター等関連団体、木工関係の機械メーカーが参加して、新製品、新技術、新しい提案などをもって、日ごろの研鑽発表の場として参加し会場を埋め尽くした。午前10時開門、両脇に本物の樹がたちならび、木の香りぷんぷん、フィトンチッドいっぱいの中を、半丸の木の床をふんでのご入場である。まさに、環境に優しく、健康いっぱいの素晴らしい入場門だ。家族連れも含めて入場者がなだれを打つように、次から次へのご入場だ、これにはチョッとまごついた。これだけの人が何故土曜日の早朝から集まるのか、不思議だ。不思議というよりは、これだけの人を集める魅力が木材にあるということだ。木材業界は現在旗色が悪く、業界は長期不況、倒産廃業があとを絶たぬ現状、木材製品は化学製品に需要を奪われ、シェアは確実に低下している。今回の建築基準法改正に伴うホルムアルデヒド放散量の基準届出に対しての事務能力を見てもわかるように、こんなことでは、木質建材が、非木質建材に吸収されるのではと危惧している次第だ。こんな思いがこの会場では吹っ飛んでしまうほどの、木材に関する関心が一般消費者に強いことを実感した次第である。木材業者よもっと自信を持ってヒビの業務に励むこと、が必要ではないか。問題はこの木材に対する強い需要、願望、渴望をいかに実際にわれわれのほうに呼び込むかである。どうしたら、木材に対する誤解をとき、木材のよさを認識してもらい、使っていただくかが問題である。古くて新しいテーマ、永遠のテーマであるがここであきらめずに、木材関連業界が一丸となって需要開発に進むべきである。これだけの人が集まる仕掛けは、なにが魅力かである。会場の関係者に「なぜこんなに大勢の人が集まるのか、どんな仕掛けしたのか」と質問したところ、「この不況で土曜日なのに、子供連れでいくところがない、ここに来れば、お弁当は自分もちだが、子供と一日遊んでいられる、冷房も効いているし、快適だ。見てくださいほとんどが家族連れ子供連れだ。」と言われた。なるほど一面あたっているだろう。しかしそれだけではないはずで、入場料無料の施設は数多いはず子供の遊び場もいまではいくらでもあるだろう。数多い遊園地的な家族ずれの遊び場のなかから、大正区、近鉄沿線の大阪ドームまで足をのぼすのか、それも早朝から長蛇の列、なだれをうって我先に入場する魅力はなにか、この仕掛けは何だろう。この開催者はどんなPRをしたのか？どうして人を集

めたか？2日間で3万2千人の入場者は、ただで遊べることに意外になにを求めてきたのか？聞いた範囲では答えの出ない問題だ。一つだけいえることは、木に、木材には、われわれが考えている以上に、一般消費者は魅力を感じていることだけは、確かなことではないか、この掘り起こしなんとしてでもしなければならない



平成 15 年 9 月 15 日

細田安治

## 需要の創造 2

6月21日、22日 明日の暮らしと環境・木材フェア、木材新技術・新製品展示会 さいたまスーパーアリーナで実施された。主催は、全国木材協同組合連合会単独である。今回は首都圏少なくとも大阪ドームを上回る盛り上がりを期待し楽しみにして出かけた。当日は好天に恵まれ、大阪とかわらず家族ずれが中心であった。入場者は2日間で4万8百人、大阪ドームの3万2千人を上回る盛況であった。目玉は会場の中央に、本物の木造住宅を建てて、埼玉県知事を招いての上棟式だ。いわゆる 建前と言う木造建築のハイライトとも言うべき記念すべき儀式だ。一昔前には、地方で行われる建前式に、お施主様が、お餅を撒いたり、時には御ひねりを撒いて、建築の無事安全祈願と、ご当地お披露目のご挨拶としてにぎやかに行う重要な行事だ。最近ではあまり見られなくなり、どちらかと言えば珍しい行事になっている。

こんな珍しい上棟式に、お餅を撒いたかどうか定かでないが、地元埼玉県の知事ほか、県の関係者多数が参加してNHKのテレビ取材もあり、物見高い見物人が周囲を幾重にも取り囲み、熱気ムンムンのなか賑々しく行われた。グレンで吊り上げた棟を、とび職人が、威勢良く「かけや」をふるって打ち込み、構造躯体と、棟が連結され、棟あげ完了となる。この状態は、外見から建物の全体の輪郭が判断できる段階で、これが棟あげである。このあいだは、ほかの展示は見向きもされず、この棟あげに入場者の興味が集中していた。アトラクションとしてはこの上棟式は大成功であった。この企画立案者の、知恵と実行力に感謝するとともに、全国の木材関係業者から、大きな拍手を送りたい。

残念なことは、業界人参加者、関係者の少ないこと、自分たちのためにやっていることなのに、この少なさは一体なんだろうか。動員をかけて参加してもらわねばならない。新木場でもやるぞの意気込み必要、やる気ある会社はたくさんある。

場内で特に目に付いた新製品、新企画では、アサノ不燃建材のセメントと木材の混合板、群馬リサイクル工場が出品していたアスファルトと木片を混合し整形したアスウッド、用途は車止め、歩道の敷石代用品などである。

新しい木材工業化技術としては、耐火木材、圧密化木材などが目に付いた程度で特に出色した製品は見当たらなかった。需要創造のイベント二つの会場をみての感想は、木の日の全国的な規模でかつ内容を集約したものと理解した、木の日の効果が疑問視されているが、ここでは疑問払拭、これだけの人が、木に関心を持っているとは、認識不足であった。ここでのヒントは、やりようによっては、人を集めることが出来る。ここに需要創造のヒント、生き残りのヒントが隠されている。

## ジュートック

新製品

大建工業

1. マイナスイオン発生の天井板 イオニカ マイナスイオン 通常クロス仕上げの5倍から6倍 300～500個が1500～3000個 公園や森なみの発生量  
300角

価格 2430/m<sup>2</sup> 中心

★イオンとは

大気中に存在する電気を帯びた目に見えない微粒子

☆マイナスイオン

マイナス電気を帯びたもの

森林、滝の周辺、朝日の出る所に増加、爽快感、リラクゼーションを感じる空気に多く含まれる

マイナスイオンには疲労軽減作用、

ストレス緩和作用

美容、保健作用、

新陳代謝促進作用

血液浄化作用

などがあるといわれている

☆プラスイオン

プラスの電気を帯びたもの

OA機器に囲まれたオフィス、タバコの煙が立ち込めるところ

大気が汚染されたところなどで増加

身体疾患の原因となこともある

2. 天井、壁、床下地 吸放湿 化粧材 杉の4倍、石膏ボード30倍

寸法 450角 最低 6000/m<sup>2</sup>

3. ダイライト

4. 外壁下見板

★三菱商事建材、三菱マテリアル

1. 呼吸する建材 モイス

ケイカルセラミックにパーミキュライトを混合したもの

呼吸 吸排出

曲がる

切れる

保持力

価格 通常ケイカルの3倍

エマルジョン 塗料リボスのより吸排出機能変わらず